



1. 慈尊院地区及び周辺の状況

① 道の駅～バッファゾーン (計画堤防) 上流端

道の駅は九度山町の観光拠点として機能している。紀の川に沿った県道13号が道の駅と慈尊院を繋いでいる。



④【視点場④】バッファゾーン上流端



⑤道の駅～計画堤防上流端



サイクリングの様子



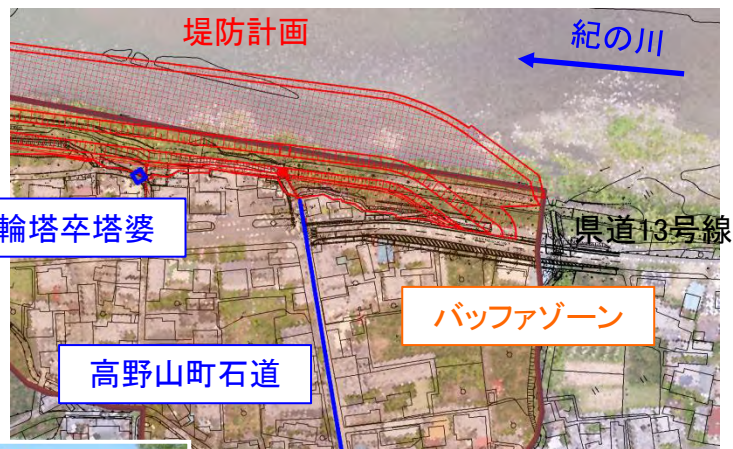
⑥道の駅「柿の郷」くどやま



1. 慈尊院地区及び周辺の状況

② 高野山町石道 (慈尊院～丹生官省符神社)

慈尊院及び丹生官省符神社は、県道よりも高い位置にあるが、境内及び階段から紀の川を見ることができない。



① 慈尊院から紀の川の景観



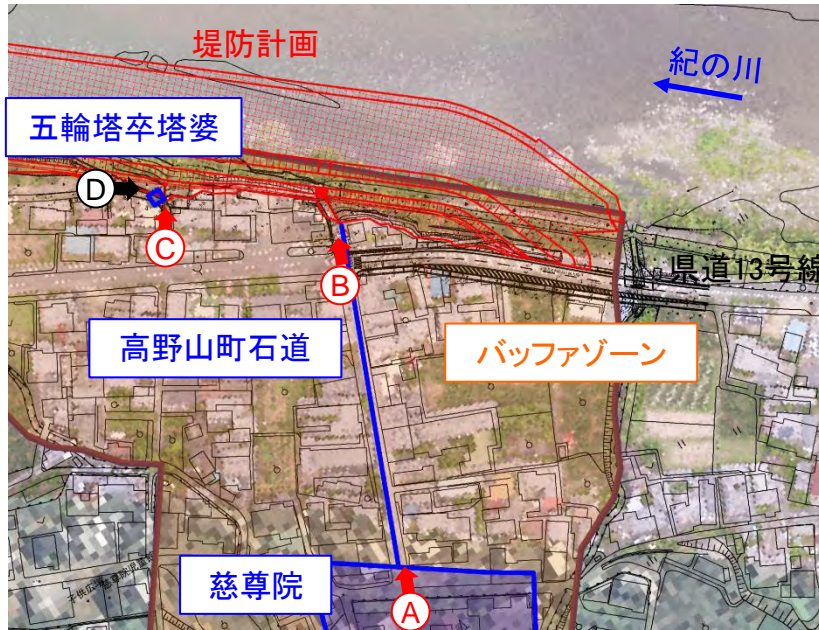
② 丹生官省符神社階段から紀の川の景観



1. 慈尊院地区及び周辺の状況

③ 高野山町石道 (慈尊院～紀の川)

慈尊院～紀の川間(高野山町石道)の県道13号線交差点付近については、上下流に民家があるが、スポット的に紀の川の水面が見える。



五輪塔卒塔婆から紀の川向きの景観

◎【視点場②】南から北(紀の川)向き



◎【視点場③】紀の川下流から上流向き

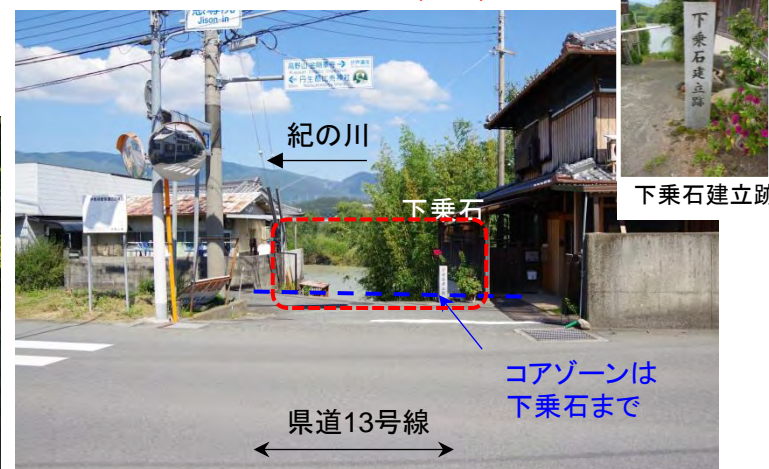


◎【視点場①】慈尊院門入口の景観



遠くに紀の川の河畔林がスポット的に見える

◎【視点場③】県道13号線交差点(歩道)からの景観

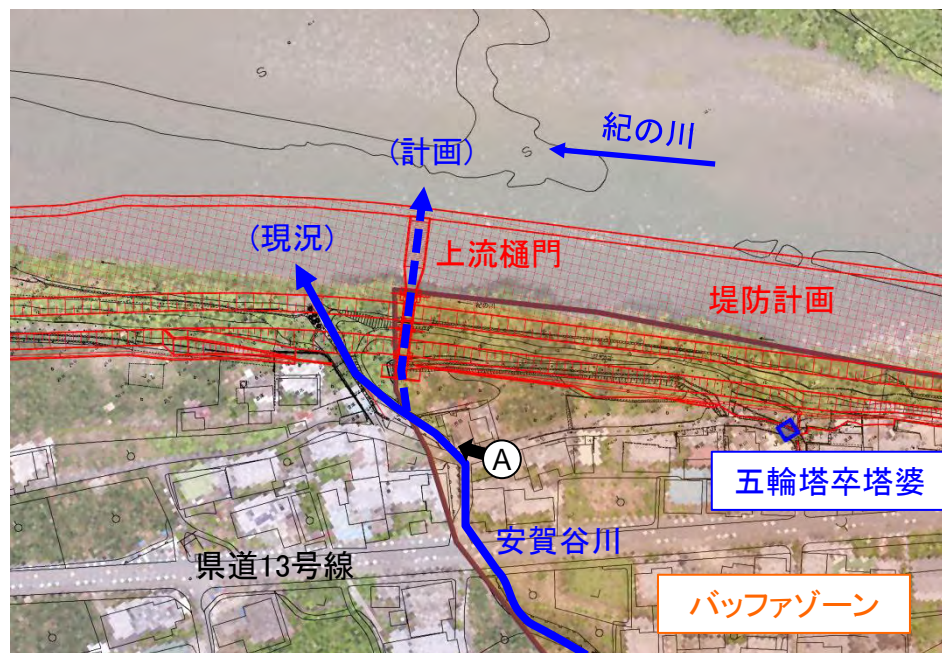


紀の川の水面がスポット的に見える

1. 慈尊院地区及び周辺の状況

④ バッファゾーン下流端（上流樋門）

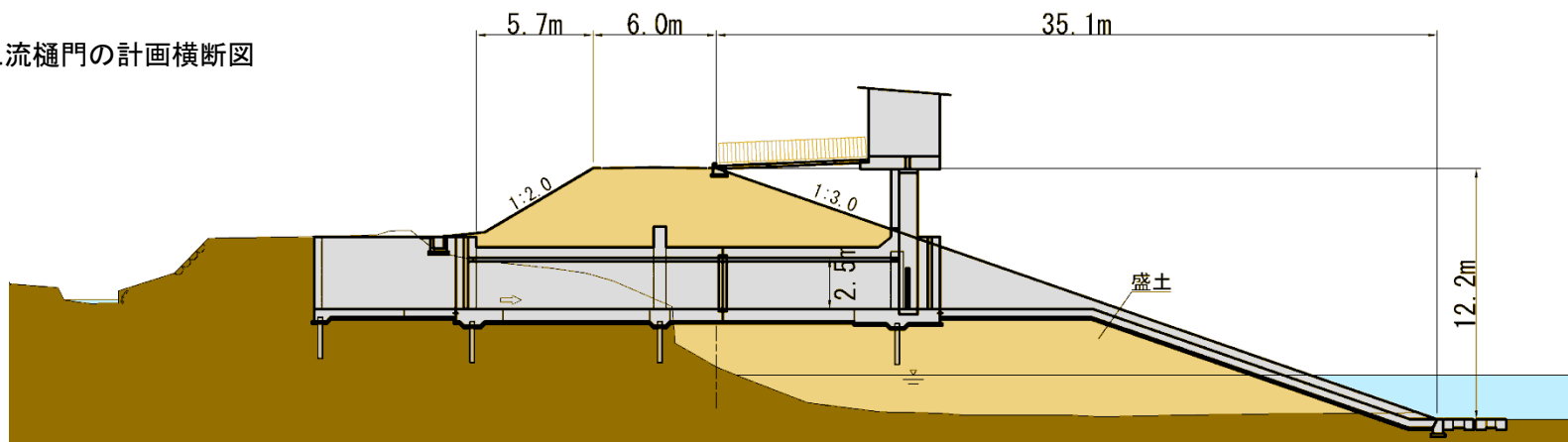
バッファゾーン下流端部(民家連担)は、堤防整備に伴い支川 安賀谷川の樋門を設置する計画である。



① 上流樋門設置位置の景観



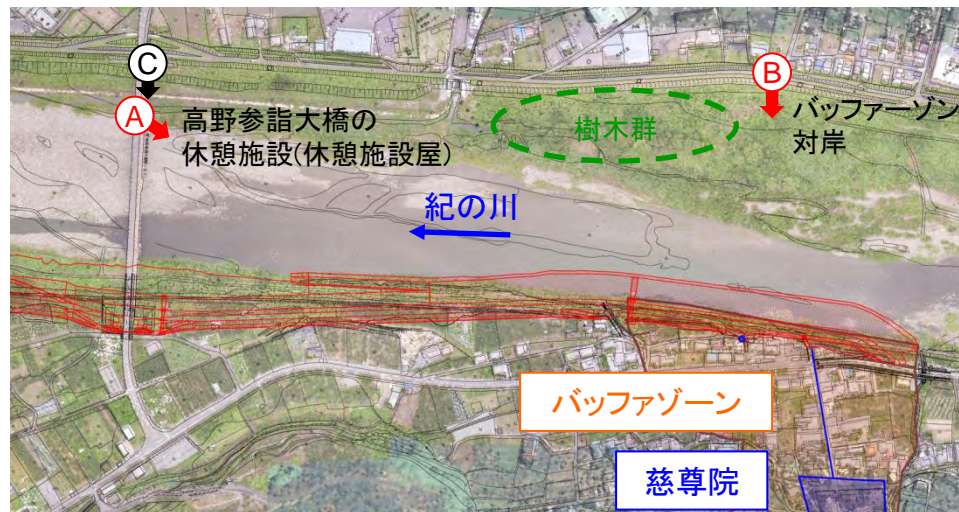
上流樋門の計画横断面図



1. 慈尊院地区及び周辺の状況

⑤ 高野参詣大橋～対岸

高野参詣大橋(歩道休憩施設)及び対岸の紀の川堤防から見た、慈尊院及びバッファゾーンは遠景となる。



⑤【視点場⑤】高野参詣大橋(右岸側東屋)からの景観



遠くにバッファゾーンが見える

⑥【視点場⑥】バッファゾーン対岸からの景観



下流は樹木群があり対岸が見えない

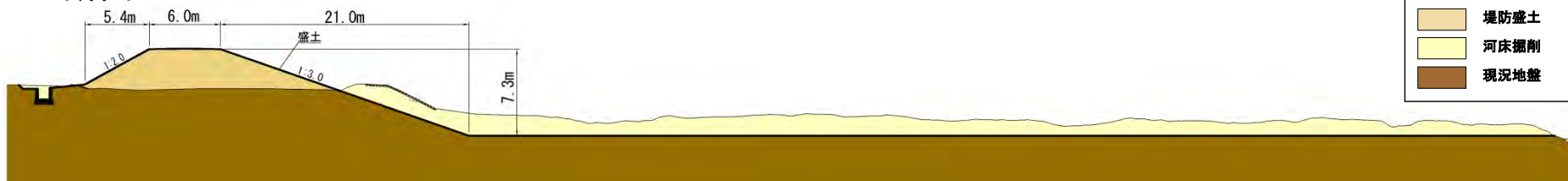
⑦ 橋右岸側休憩施設



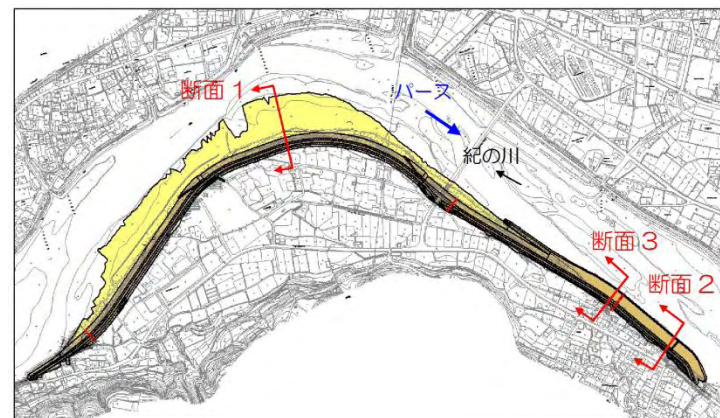
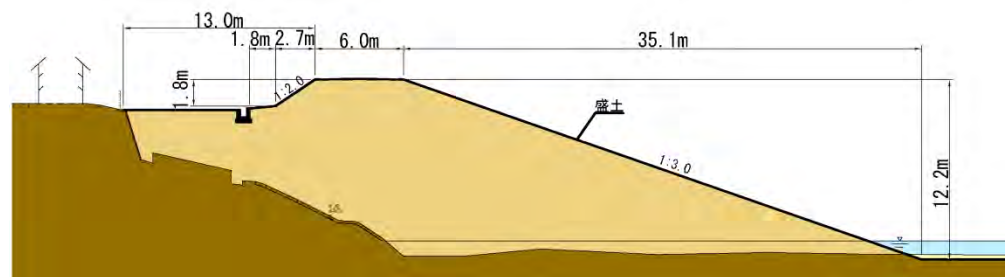
2. 慈尊院地区の堤防計画

慈尊院地区の堤防整備では、堤防(土堤)とあわせて、流下能力の確保を目的とした河床掘削及び支川合流地点に樋門(計3箇所)の設置を実施する計画である。

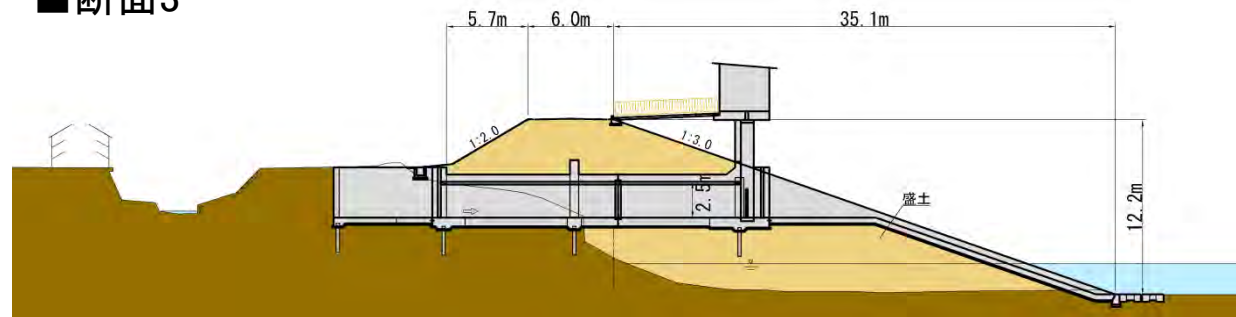
■ 断面1



■ 断面2



■ 断面3

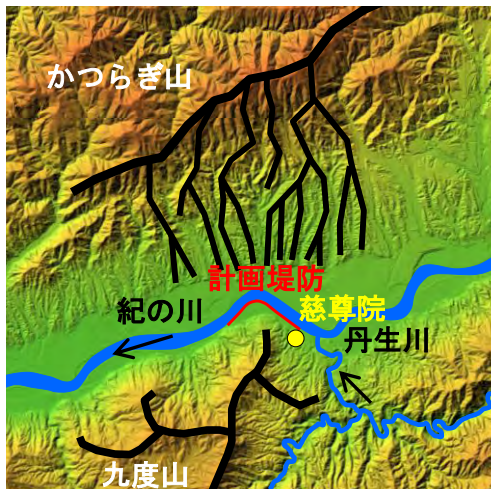


3. 慈尊院地区及び周辺の景観構造

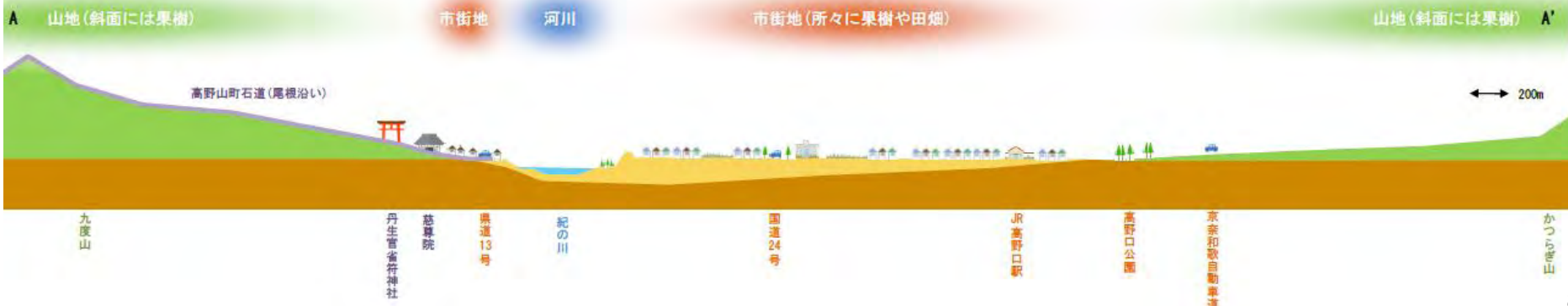
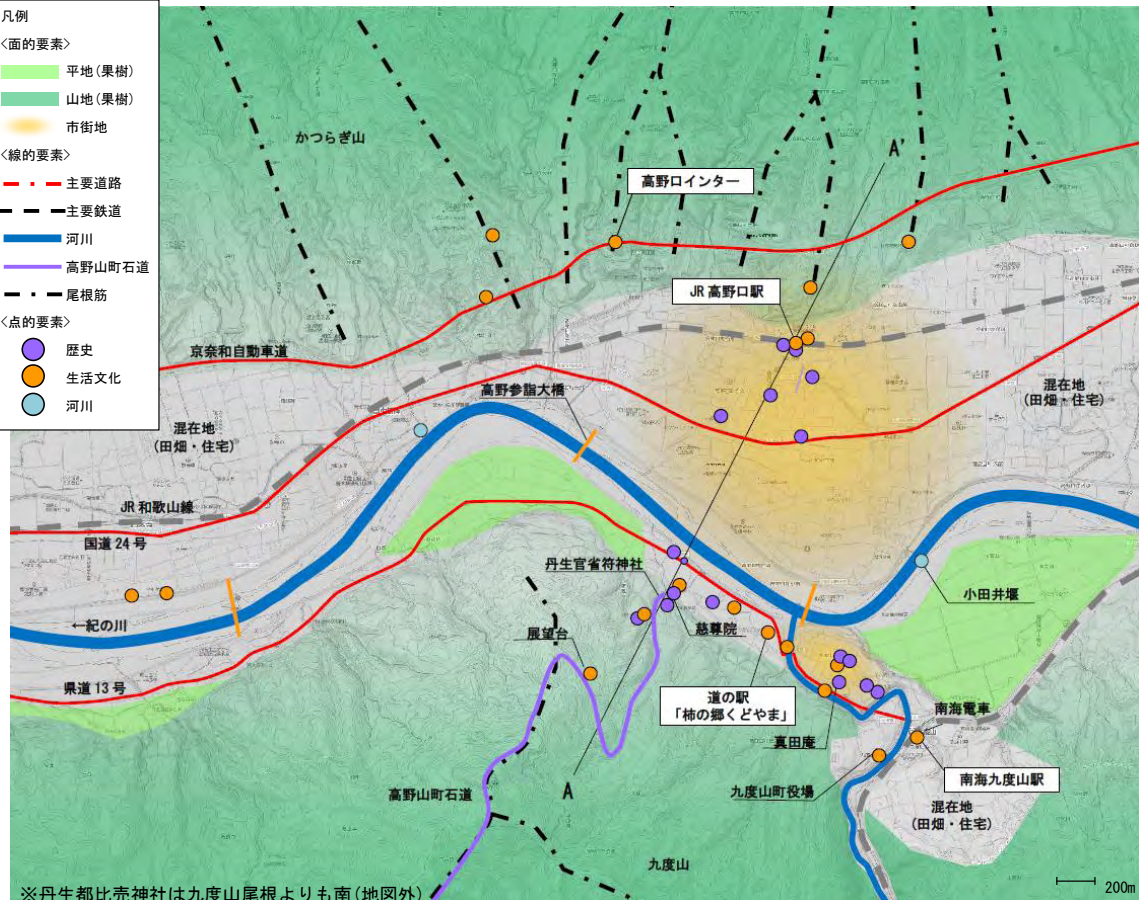
■ 慈尊院地区及び周辺の景観構造

- ・計画地は南北を山に囲まれている
- ・川は東西に流れ、川に沿って平地が形成している
- ・平地には、市街地および果樹園が広がる
- ・山地の斜面を活かした果樹栽培が行われている
- ・史跡の多くは平野部のJR高野口や南海 九度山町の市街地、慈尊院付近に集中している
- ・紀の川に沿って、道路交通が伸びる

- 凡例
- <面的要素>
- 平地(果樹)
 - 山地(果樹)
 - 市街地
- <線的要素>
- 主要道路
 - 主要鉄道
 - 河川
 - 高野山町石道
 - 尾根筋
- <点的要素>
- 歴史
 - 生活文化
 - 河川

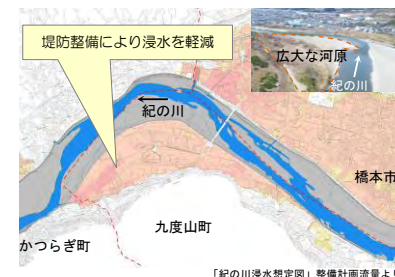
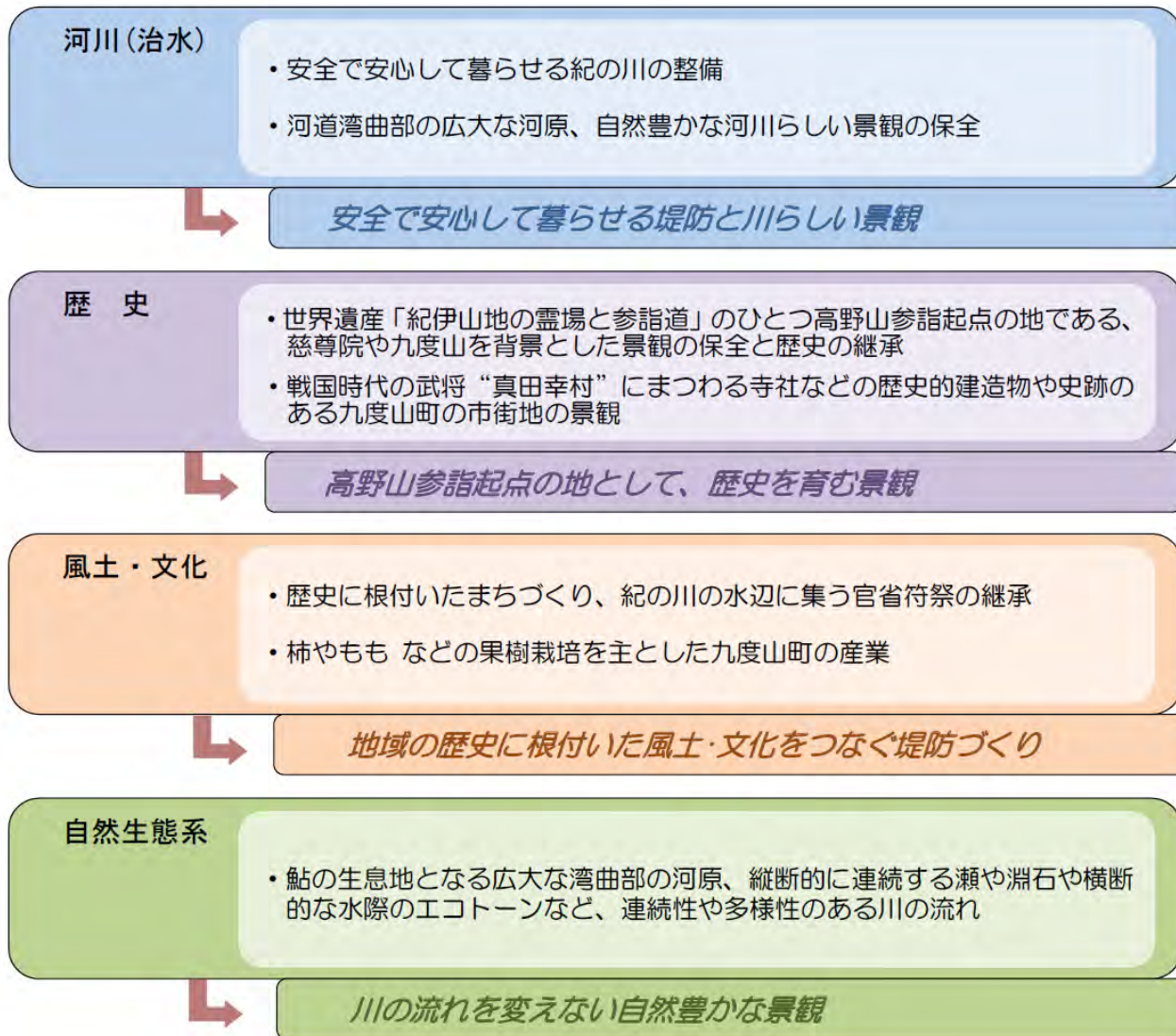


■ A-A' 断面



4. 慈尊院地区の景観の整備方針 (案)

紀の川慈尊院地区の堤防整備における景観検討にあたり、留意すべき慈尊院地区及び周辺の景観特性と地域特性を「河川(治水)」、「歴史」、「風土・文化」、「自然生態系」に分類して、整備方針を整理する。



5. 景観検討における視点場 (案)

バッファゾーン内の計画堤防及び周辺を視対象とし視点場を設定する。

視対象

バッファゾーン内の計画堤防およびその周辺を設定した。

動線

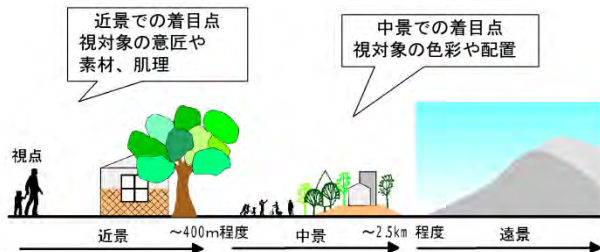
地域住民と観光客に分けて動線を設定した。

表 対象利用者に対して想定される動線

主な対象利用者	動線	内容
地域住民	ア 計画堤防対岸	計画堤防対岸
	イ 県道～五輪等卒塔婆	県道～五輪等卒塔婆
観光客	ウ 高野参詣大橋	高野参詣大橋
	エ 慈尊院参道	慈尊院交差点～慈尊院
	オ 慈尊院交差点～道の駅	県道(慈尊院交差点～道の駅)

視距離

各視点場に対し、視距離を設定した。



凡例

- 計画堤防 (Red line)
- コアゾーン (Blue outline)
- バッファゾーン (Orange outline)
- 視対象 (Pink outline)
- 動線(対象: 地域住民) (Blue line)
- 動線(対象: 観光客) (Yellow line)
- 視点場(案) (Red dot)

視点場⑤
高野参詣大橋(右岸側休憩施設) 遠景
着目点周囲の景観を眺められるが、コアゾーンやバッファゾーンはほとんど望めない。

視点場⑥
慈尊院
バッファゾーン
対岸(慈尊院正面) 中景
着目点築堤前後での変化が大きい場所であり、変化の緩和に着目した景観検討が必要。

視点場③
慈尊院交差点 近景
着目点築堤前後での変化が大きい場所であり、変化の緩和に着目した景観検討が必要。

視点場②
五輪塔卒塔婆 近景
着目点コアゾーンの付近であり、現況景観になじむ景観検討が必要。

視点場①
慈尊院 中景
着目点バッファゾーンの境界付近であり、人の往来も多く景観に対する重要性が高い。

視点場④
県道 近景
着目点慈尊院からの景観であり、人の往来が多く景観に対する重要性が高い。

高野参詣大橋

五輪塔卒塔婆

丹生官省符神社

慈尊院

紀の川

コアゾーン

6. 事業スケジュール

紀の川慈尊院地区の堤防整備における景観検討委員会は、堤防や樋門の詳細設計作業と並行して令和元年11月頃を目処として検討を進める予定である。

